



飛翔

令和2年度 西津小学校
学校だより 第22号
令和3年1月20日



「時を守り、場を清め、礼を正す」



12月には保護者の皆さんに学校評価アンケートをお世話になりました。児童アンケートも含めた集計結果や分析の内容に加え、自由記述としてご記入いただいたご意見とその回答につきましては、2月中旬に紙面にてお伝えいたします。

その自由記述欄に時間と挨拶についてのご意見がありました。時間を守ることや挨拶は、本校においても時代の変化に関わらず、いつまでも変わらない「不易」として大切にしているところです。見出しの言葉は、哲学者で教育学者でもある森信三先生が職場再建の3原則として提唱されました。教育現場はもとより、企業理念や社会人教育など多方面で活用されておりますので耳にされていることと思います。教師である私たちは、常々子どもたちにそれらについての指導をしていますが、自らが子どもたちの手本となる行動が取れているかと問われれば、決して十分とは言い切れません。教育界では「子どもは教師の鏡、教師が変われば子どもも変わる」と言われています。同時に、世間一般では「子どもは大人の鏡」とも言われます。大人であり教師である私たち自らが、下記の内容について改めて肝に銘じて行動したいと考えています。

* 「時を守り」

時間や期限を守ること。時間を守るとは、相手の時間を大切にすることで、結果として相手を尊重することである。それにより自分の信用を積み重ねることにつながる。

* 「場を清め」

3S（掃除、整理、整頓）である。その意味は次の5Kで表される。気づく人になれる、心を磨く、謙虚になれる、感動の心をはぐくむ、感謝の心がめばえる、ということ。

* 「礼を正す」

挨拶をすること、返事をすること。挨拶は相手の人に心を開くということ、人間関係を構築する基本である。返事も同じで、気持ちの良い返事をすれば人間関係がよくなる。



△竹森さんに生けていただいた2021年第1号です

“児童の 児童による 児童のための” 児童会となっています！

先日の児童集会では、児童会執行部が1月に入ってから学校生活を振り返って、全校児童に呼びかけを行いました。依然収束の兆しが見えない感染症の拡大や狭い廊下や階段での事故を未然に防ぐために、廊下や階段での密や大声の禁止、右側通行、さらには下足箱の靴の整頓や特別教室での過ごし方に至るまでの注意喚起を行いました。自らの力で学校生活の充実と向上のために諸問題を話し合い、協力してその解決を図ろうとする姿がとても頼もしく思えました。

また、今月の生活目標「感謝の気持ちを言葉で伝えよう」について再度確認し、「ありがとう」「おいしかったです」などの言葉を発することで、伝える側も伝えられる側もうれしくなり、気持ちよく生活できることを全校児童に伝えていました。各委員会からの呼びかけもあり、自主的な取組が光っています。



校内なわとび大会(2/18)に向けて！

2/18(木)開催予定の校内なわとび大会は、感染症拡大防止のために保護者の皆さんの参観は行わずに実施させていただきます。今週予定していました授業参観中止に引き続いてのご理解をお願いいたします。

さて、なわとびは冬の運動不足を解消する体力づくりに最適な運動です。月・金曜日の朝運動時にはなわとび練習がはじまりました。1/15(金)から大会前日までの1ヶ月間を「なわとび強化期間」とし、体育の時間はもちろん、朝運動や業間時にそれぞれ目標を掲げ、取組方法を工夫して、全校一斉に練習に取り組みます。体育の授業を終えた子どもたちが、なわとびの話を楽しそうに教室に戻っていく声がよく聞こえてきます。いろいろな技の名前を覚え、なわとび進級表をもとに意欲的に新しい技や回数に挑戦してほしいです。

表題横の写真は、6年生が1年生とペアになって、数を数えたり、技跳びを伝授したりしている様子です。心が温かくなる光景です。

